

文理科学科

福高はあなたの「みらい」を応援します！

文理科学科は「進学に特化した専門学科」です。難関大学や医歯薬系を目指したハイレベルな授業を展開し、「みらい学」において京都大学と連携し、論理的思考力、豊かな教養、発想力を培い、「みらい」社会の創造と発展に寄与する人材の育成を目指します。これから、文理科学科のいろいろな取組を紹介していきます。

自らの努力で「夢」の「花」を咲かせよう！

希望を胸に 平成 22 年度文理科学科 42 名が入学



4月9日、春らしい爽やかな青空の下、平成22年度福知山高等学校入学式が挙行されました。今春卒業した文理科学科第1期生の輝かしい進路実績（下段参照）を受け継ぐべく、希望を胸に第4期生42名が入学しました。

入学式では、坂根文伸校長が式辞の中で、高校生活を有意義に過ごすための四つの“心構え”（①知の獲得 ②チャレンジ精神 ③自分の輝き発見 ④良識ある社会人）を紹介され、また入学式後のホームルームでは、担任の青木朋子先生（英語）が、日々努力し、自分の「夢」を开花させようと激励されました。新入生のやる気に満ちた眼差しが大変印象的でした。

<文理科学科 第4期生（平成22年度入学）出身中学校別一覧（42名）>

桃映中	南陵中	成和中	六人部中	川口中	日新中	三和中
2	6	8	5	2	7	1
夜久野中	綾部中	豊里中	青葉中	白糸中	和田中	由良川中
1	3	3	1	1	1	1

自分の“夢”を実現！

東大・京大・阪大など難関大学に多数合格 第1期生の輝かしい進路実績

今春、文理科学科から初めての卒業生が出ました。進学に特化した専門学科にふさわしく東京大学、京都大学、大阪大学など難関大学に多数合格しました。自分の夢を最後まで諦めない強い精神力で輝かしい進路実績を残しました。

<文理科学科 第1期生 進路実績> 主な合格先（数字は合格延べ数）

◎国公立大学 35名合格

東京大学	1名	京都大学	3名	大阪大学	4名	神戸大学	4名
神戸市外大	1名	広島大学	3名	九州大学	2名	金沢大学	1名

など

◎私立大学 59名合格

早稲田大学	2名	同志社大学	8名	立命館大学	14名	関西学院大学	13名
-------	----	-------	----	-------	-----	--------	-----

など

「みらい学Ⅰ」開講！

神戸大学教授による特別講義を受講し、農学の研究活動を開始

「みらい学」とは大学での学習・研究につながる真の学力とともに、AO入試・論文入試など多様化する大学入試に対応できる力を育成する取組です。

1年生で取り組む「みらい学Ⅰ」は、さまざまな学問を体験し、研究手法について学ぶことを通じて、自分の「みらい」(進路設計)を考えることを目的としています。



4月17日、今年初めての土曜講座を利用して、第1回目の特別講義を開催しました。今回は神戸大学大学院農学研究科教授土佐幸雄先生に「大学における教育と研究－農学の視点から」というテーマで御講義いただきました。前半の講義では「日本から世界へ そのためにはどのような力が必要か」についてお話されました。土佐先生は「基礎学力」を土台とした「観察力」「創造力」の大切さ、具体的には高校生のうちに「基礎学力」である英語力・国語力・コンピューターを操作する力をしっかり身に付けることが大切だと力説されました。また後半の講義では生徒たちにグループで研究する「食べる」ことに関わる4つの課題（農薬問題・食料自給問題・遺伝子組み換え作物の問題・地球温暖化とバイオエタノールの問題）を提示されました。生徒達は10班に分かれ、この課題のなかから1つを選び、これからの「みらい学Ⅰ」で研究活動に入ります。その成果を5月8日（土）、本校で行われる研究交流会でポスターセッションの形式でそれぞれ発表します。



1年6組15番 高本 夏実 綾部中学校出身

普段の生活で触れることのない、奥の深い講義だった。絵や図、写真を用いた非常に分かりやすい内容で今後社会に出て行く中で重要な知識を聞くことができ、今回の講義は自分にとってもためになるものになったので良かったと思う。特に印象に残ったのが、意見に対する反論、という形で説明された所で、ただ聞くだけでなく、自分の考えも交えて良いか悪いか、しっかりと考えることができた。たった1つの課題でもちょっと掘り返すと様々な課題や問題がでてくるのに驚いた。現在私たちは常に課題の中で生きているんだということをあらためて実感させられたと同時に、それらの改善策を考えるのも、今後の将来を生きていく私たちなんだと痛感した。

1年6組3番 足立 亮輔

日新中学校出身

今日の講義を通して、何かの発見や発明をするためには、まず、基礎学力が土台になっているということを知りました。特に土佐先生の仰っていた、漢字は重要、というのは、僕も常日頃から感じていて、特に本などで文章を読む時には、漢字1つ1つに意味があるお陰で、文章がとても読み易くなっていると感じていました。また、英語で会話できるようになるには、生の英語に触れるのが良いと聞いて、自分も字幕付きの映画を英語で観てみようと思いました。そして、フレミングという人の話を通して、観察力とは、同じ物を見ていても、他の人の気付かないことに気付けることであり、見ていることと気付くことは違うと知りました。今日の講義の中で教えていただいた、ポスター発表のやり方や、書き方を、これからの「みらい学」で行う研究や発表に生かしていくようにしたいです。